

施策番号	1603		
施策名	高齢者を支えるネットワークの推進		
概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、地域による見守りのネットワークを推進するとともに、生活上の安心・安全と健康の確保に向けたサービスを提供する地域包括ケアシステムの構築を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・長寿社会部	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関する主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 老人福祉員訪問者数(人)	a	a	33,855	33,762	33,855	99.7%	b	1.00	
2 地域包括支援センター相談件数(件)	b	b	254,019	250,044	266,720	93.7%	b	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				b	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 高齢者が地域で見守られ支えられて、安心して暮らせるまちになっている。	18	124	209	106	49	506	c
	3.6%	24.5%	41.3%	20.9%	9.7%		
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	c

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					26年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が一人暮らしの高齢者等に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●老人福祉員については、高齢者福祉に関する養成研修を受けたボランティアや関係機関との連携により、一人暮らしの高齢者が地域で安心して健やかに暮らせる体制整備に取り組んでいる。昨年度実績では、訪問者数については過去最高値を更新できなかったもののほぼ同数の実績となっており、b評価と安定している。 ●地域包括支援センター相談件数については、センターの一層の周知・広報に取り組むとともに、24年度から、新たに一人暮らし高齢者全戸訪問事業に取り組んだ結果、目標値には若干届かなかったものの、3年連続b評価と安定している。 【市民の実感】老人福祉員の活動など高齢者を地域で見守る取組に対する認知や理解が十分に広がっていないことから、4割を超える方がどちらとも言えないと回答しており、昨年度に引き続きc評価となっている。							

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	老人福祉員設置事業	36,835	38,814	良い	保健福祉局
2	緊急通報システム事業	183,774	187,311	良い	保健福祉局
3	シルバーハウジング生活援助員派遣事業	2,899	2,821	良い	保健福祉局
4	配食サービス事業	97,854	113,735	良い	保健福祉局
5	地域包括支援センター運営事業	1,618,326	1,716,571	良い	保健福祉局
6	一人暮らしお年寄り見守りサポーター事業	1,715	2,443	かなり良い	保健福祉局
7	配食サービス事業(60~64歳)	1,107	1,652	良い	保健福祉局
8	地域包括支援センター運営事業(地域における在宅医療・介護の連携(在宅療養)推進事業)	-	10,029	-	保健福祉局
9	高齢社会対策実態調査	-	8,944	-	保健福祉局
10	高齢者に対する生活支援サービス実態調査事業	-	26,156	-	保健福祉局
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

●高齢化率の上昇や単身世帯の増加を踏まえて、高齢者が地域において安心していつまでも生活できるよう、老人福祉員活動の推進や地域包括支援センターの人員体制の強化、地域の様々な社会資源の連携により、今後とも高齢者を支えるネットワークを推進していくとともに、これらの取組に対する認知や理解の広がりを図る。

施策名	1603	高齢者を支えるネットワークの推進					
指標名	老人福祉員訪問者数（人）						
担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106				
<b>1 指標の説明</b>							
老人福祉員が訪問している一人暮らし高齢者数							
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>				
高齢者を支えるネットワークの構築がどれだけ進んでいるかを示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ				
<b>4 数値</b>							
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値			
	33,855	33,762		数値	根拠	達成度	
数値	33,855	33,762	93人減	33,855	過去5年間の最高値	99.7%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度		根拠	
数値							
<b>5 評価基準</b>			<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
最新の数値を過去5年間の数値と比較して、 a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。  最高値：33,855人（平成25年度） 平均値：31,146人 最低値：28,203人（平成21年度）		25	26	27
					a	a	b
指標名	地域包括支援センター相談件数（件）						
担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106				
<b>1 指標の説明</b>							
地域包括支援センターへの年間相談延べ件数							
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>				
地域全体で高齢者を支えるネットワークの構築状況を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ				
<b>4 数値</b>							
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値			
	254,019	250,044		数値	根拠	達成度	
数値	254,019	250,044	3,975件減	266,720	前年度実績の5%増の数値	93.7%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度		根拠	
数値							
<b>5 評価基準</b>			<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
単年度目標に対する達成率が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満			積極的な対象者の発見を重視し、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		25	26	27
					b	b	b